

いずもぎき 議会だより

第96号
2017 平成29年7月21日



6月臨時会・定例会

もくじ

新議会人事決定!!	2
平成29年度補正予算	4
全員協議会	6
一般質問(3人が町政をただす)	7
新議会に期待すること(議会モニターから)	10

事構成が決定!!

6月臨時会

.....**会期** 6月8日 (1日間)

臨時会では出雲崎町議会基本条例に基づき、議長及び副議長を投票にて選出いたしました。また、各委員会の構成・正副委員長の選出も行われました。



9 諸橋 和史



7 三輪 正



5 高桑 佳子



3 中野 勝正



1 小黒 博泰



10 仙海 直樹



8 安達 一雄



6 加藤 修三



4 高橋 速円



2 中川 正弘

(議席順)

議長就任の おめでとう

議長 仙海 直樹

議長の職を務めさせてさしていただくこととなり、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いがいたします。

人口減少、少子高齢化が進む中で町民のニーズも多様化し、今後、議会の責任は更に大きくなっていくと思われまます。

浅学非才の私ではありますが、出雲崎町の発展と、町民各位の福祉の向上に誠心誠意努力をする所存であります。

今後とも、これまで以上に皆さまのご指導、お力添えをお願いいたします。

副議長就任の おめでとう

副議長 諸橋 和史

出雲崎町の人口減少、少子高齢化に伴い、産業の衰退など多くの問題に直面しております。また、議会と町民の対話を多くしていきたいと思っております。

今回、副議長の職を務めさせていただくことになり、その責務の重さに身の引き締まる思いがいたします。

町民の皆さまのご指導、宜しくお願いいたします。



新しい議会人



臨時会において、工事請負契約の締結（多目的運動場整備工事）、平成29年度出雲崎町一般会計補正予算など議案8件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で承認、可決、同意しました。

議長
仙海直樹

副議長
諸橋和史

	総務文教常任委員会	社会産業常任委員会	議会運営委員会
委員長	高 桑 佳 子	加 藤 修 三	中 川 正 弘
副委員長	安 達 一 雄	小 黒 博 泰	高 桑 佳 子
委 員	中 川 正 弘	高 橋 速 円	加 藤 修 三
	中 野 勝 正	三 輪 正 正	三 輪 正 正
	仙 海 直 樹	諸 橋 和 史	

エコパークいずもざき監視特別委員会

委員長	三 輪 正	
副委員長	加 藤 修 三	
委 員	中 川 正 弘	中 野 勝 正
	高 橋 速 円	諸 橋 和 史
	高 桑 佳 子	安 達 一 雄
	小 黒 博 泰	

議会報特別委員会

委員長	高 桑 佳 子	
副委員長	小 黒 博 泰	
委 員	中 野 勝 正	安 達 一 雄
監査委員	新潟県後期高齢者医療 広域連合議会議員	
	中 川 正 弘	加 藤 修 三

平成28年度 出雲崎町一般会計補正予算（第8号）（専決）

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計 (第8号) (専決)	△1171万円	39億1075万円

平成29年度 出雲崎町一般会計補正予算（第1号）

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計 (第1号)	337万円	34億2337万円

平成28年度 出雲崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（専決）

会計	補正額	補正後の予算額
特別会計 (第1号) (専決)	41万円	5521万円

承認した条例改正（専決）

- ◆町税条例の一部改正
個人住民税に係る所得控除の見直しなど。
- ◆町国民健康保険税の一部改正
保険税の軽減世帯に対する軽減拡充。

28	23	22	21	19 14	6	5	4
議会報特別委員会 (議会だより96号)	議会報特別委員会 定例会最終日	議会運営委員会 質問	定例会2日目（一般 総務文教常任委員会 社会産業常任委員会 （議会だより96号）	議会報特別委員会 召集日 第3回町議会定例会	第2回町議会臨時会 全員協議会	第42回議長・副議長 研修会（東京都）	議会報特別委員会 (議会だより95号)

議会のひびき（主なもの）

平成29年4月～6月

機能を強化!

6月定例会で可決した補正予算

(△は減額)

会計	補正額	補正後の予算額
一般会計(第2号)	2160万円	34億4497万円
特別会計	国民健康保険事業(第1号)	6億3205万円
	介護保険事業(第1号)	6億8347万円
	簡易水道事業(第1号)	1億6622万円
	農業集落排水事業(第1号)	△50万円
	下水道事業(第1号)	1億9554万円

一般会計補正予算(第2号)

主な歳入

- ・社会保障・税番号制度システム整備費補助金…39万円
- ・保育所等整備交付金…885万円
- ※1・コミュニティ助成事業交付金…350万円
- ・前年度繰越金…746万円

主な歳出

- ※2・保育所等整備交付金…1328万円
- ・町家づくり利子補給金…4万円
- ・住民基本台帳システム改修等委託料…142万円
- ※1・コミュニティ助成事業補助金…250万円
- ・消防備品購入費…108万円

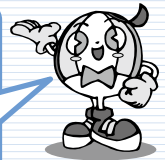
教えて 定例会



※1

コミュニティ助成事業交付金の
使い道は?

350万円のうち、歳出の補助金250万円は、出雲崎おけさ保存会の音声機材や衣装に使われ、残りの100万円は、消防の投光器・発電機などの購入費に充てられるんだ。



※2

保育所施設の機能は
何が強化されるの?

出雲崎保育園は、床改修および照明のLED化と完全給食実施に伴う備品を購入するんだ。

小木之城保育園は、保育室等の手洗いや空調の整備、また、園バス用カーポートを新設するんだ。



保育所施設の

補正予算質疑

主な質疑内容を掲載します。

6月19日

中学校教材備品購入費

22万円

公民館備品購入費

25万円

中川議員 プロジェクター等の備品購入費を、当初予算でなく補正予算であげました理由は。

教育課長 中学校では今年度、道徳の公開授業が行われる予定で、生徒の課題発表で必要になり、当初は予測できなかった。

中央公民館の大型プロジェクターは、現在の物が故障して、今後の講演会・研修会等が必要のため。

高齢者パワーアップ事業委託料減

△144万円

加藤議員 今年度の事業はどのようなになるか。

保険福祉課長 代わりの指導員をお願いし、平日の午前中に開催している。今回は町が単独で事業を開始するための予算の組み替え。

夕風の橋床板修繕工事

87万円

加藤議員 仮補修してある箇所だけの修繕費か。

産業観光課長 橋の先端、たと等3か所の修繕費となる。今回補正をして、しっかり直したい。

町家づくり利子補給金

4万円

高桑議員 家を建てる業者が町外でも、水道、電気等で町内業者を利用すればこの制度を受けられるのか。

建設課長 建築には様々な契約があるが、申請に伴ってメインで契約するのが町内業者である必要がある。

国保関係の委託料

715万円

中川議員 この金額はどこで決定されるのか。

保険福祉課長 業者からの見積もりを予算計上しており、それに対して全額国庫補助金が充当される事業。

可決した条例改正

■町奨学金貸与基金の設置、管理及び運営に関する条例の一部改正

- ・寄附による基金の増額と町奨学金返還支援事業の該当者に返還金免除の規定を設置

■町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

- ・県の医療費助成制度の対象拡大に伴い、町条例の受給資格者の規定を改正するもの

人事案件

女性農業委員誕生！

出雲崎町農業委員会委員の任命に同意（6月定例会）

森山一郎氏（立石）
内藤仁氏（久田）
岡田美由紀氏（松本）

遠藤文男氏（吉川）
佐藤一也氏（稲川）

固定資産評価員の選任に同意（6月臨時会）

山田正志氏（川西）

全員協議会

主な質疑について報告いたします。

第4回 4月13日

旧尼瀬グラウンド 開発利用計画の変更

総務課長 風力発電機1基と太陽光発電を併設予定としていたが、調査等から風量の確保が難しく、太陽光発電のみとしたい旨、申し出があった。町としてはやむを得ないと判断している。

多世代交流館建設 多目的運動場建設 今後のスケジュール

保健福祉課長 「子は宝」多世代交流館の立面図がまとまった。子育て支援施設にふさわしいぬくもりが感じられるデザインと考える。議会承認後、工期は来年3月末までの予定である。

教育課長 多目的運動場はスポーツ振興助成金の配分審査会で4860万円の交付が決

定した。着手は同様だが、今年12月末までに完成したいと考えている。

仙海議員 多世代交流というところで、高齢者の方が施設を利用し、各種教室やサークル活動を行う予定はあるか。

保健福祉課長 介護予防関係の教室はふれあいの里で行っており、変更はない。多世代を交えた中で交流の場としたと考えている。

高桑議員 立面図についての検討会はあるか。関わる備品についてはどうか。

保健福祉課長 立面図はこの案でお願いする。使用が予定される備品については今後検討ミーティング等で詳細を詰めていきたい。

仙海議員 ナイター設備はあるか。また、図面で見るとテニス、フットサルのどちらかを使えば他が使えなくなる。町内外者、利用と運用のルールを十分に考えるべき。

宮下議員 子どもたちを中心に考える施設と思うが、防犯上

の問題についてはどのように検討されるか。

保健福祉課長・教育課長 時間を掛けて、十分な体制の中で運用開始ができるよう進めたい。ナイター照明はLEDで検討している。

その他に協議されたこと

第4回全員協議会にて

- *良寛記念館魅力度アップ事業について
- *介護予防日常生活支援総合事業の一部中止について
- *農業法人から組織変更した株式会社良寛と町との今後の関わりについて
- *新聞発表された町住民の検診率等を受け、今後について
- *火災対応の反省点について

第5回 6月8日

町家づくり利子補給金 交付事業をスタート

建設課長 町に定住される方々の住宅支援と町産業の活性化を図る新制度。住宅取得に伴う固定型住宅ローンの利

子の0.2%を最長10年間補給するもの。条件はあるが、従来のまとまった金額を1回支援するものとは異なり、定住する若い世代に加え、年齢に関係なく町に転入される方が対象となる。

高桑議員 町内に拠点を置く業者を利用するとの条件は絶対条件か。

諸橋議員 自宅の近く等に若い世帯が新居を建てた場合は対象になるか。

加藤議員 申請もれがないよう、確実に徹底してもらいたい。

建設課長 町内業者の利用は必ずで、現行の新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援精度の該当であれば、新制度の対象となる。個人情報保護の問題もあるが、連携を密にし、町民へPRしていきたい。

街並みエリア形成地域に 町からも働きかけを

加藤議員 補助制度を知らない人もいるのでもっと働きかけを。

建設課長 横壁等、それだけでは対象にならない部分もあ

るが、ケースバイケースで対応しなければならぬと思う。住宅や土地の形状を変える場合、近くのお宅にも話していきたい。

町民体育館旧児童クラブの ミーティング室の活用は

高桑議員 活用の方向が出ているか。町民体育館で活動するサークルやクラブでは型を重視するものも多く、大型の鏡は設置できないか。

教育課長 部局内でも鏡を設置する方向で検討している。健康作りに使える形で有効活用していきたい。

その他に協議されたこと

- 第5回全員協議会にて
- *丸ごとオーナーの決定結果について
- *天領の里駐車場等整備と防犯カメラ確認について



「みんなで考える町おこし委員会」について

町長 ▶ フリーハンドで講じたい



高橋 速円 議員

高橋 平成元年にはじまった「みんなで考える町おこし委員会」は出雲崎町にとってその時代に沿った問題提起をしたと評価している。いま町には次の時代を担う40才代以下の若い世代への働きかけが不足している。今風な「町おこし委員会」を立ち上げるべきだと考える。認識は如何か。

町長 「みんなで考える町おこし委員会」は町内各層の20才代から70才代までの36人に委嘱した。当時の精鋭を選びすぎて、時々ビジョンをその時代に活かしてきた。いま町では「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をまとめ、今に的確に適合した施策を講じている。

このままでは

出雲崎が危ない

高橋 町が交流、定住人口に重点をおき施策を講じているのはわかるが町で生まれ、育ち、一生懸命頑張っている若い世代への視点が欠けている。今の社会環境では生活に汲々とせざるを得ないのが実態だ。当然毎日の生活が手一杯で町のことを知らない。知らないから関心がない。当時委員会では何回かに分けてマイクロバスで小木の城のてっぺんから海岸まで町全体を学んだ。そしてじんわりと出雲崎町への熱い思いが醸成され、いろいろ学んだみなさんがその後提言し、イベントでは金銀荷揚げや天領まつりで奮闘した。今一番の懸案はその次を担う世代がいらないことである。これが問題なのだ。

このことという役割職員も約4割が町外だと思いが、町をほとんど知らないのではないか。出雲崎が危ないと思うが如何か。

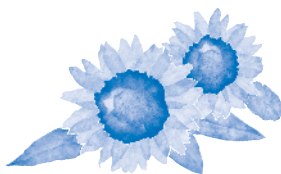
町長 組織をつくるためにフリーハンドで講じ

たい。議員の方々も若い皆さんと接点をもってもらいたい。

三つ提言します

高橋 3点提言したい。1つは出雲崎町育ちの40才代以下の皆さんを大事にする。2つは役場職員が町をもっと学ぶ場を設けること。3つ目は女性への働きかけ。子育て真つ最中の女性はなかなか家庭から出にくい。行政から声をかけてほしい。

町長 町では地域づくり推進事業を立ち上げている。



町民の声について



諸橋 和史 議員

町長

財政基盤は盤石である

今後町の合併について

諸橋 町の財政は、5年10年、人口減により税収減も考えられる。今後の対策を伺いたい。

町長 町財政は、万全を期している。将来の自己負担率はゼロ、財政基盤も盤石である。また、人口の多い少ないがバロメーターではない。町に生まれてよかった、小さくてもきらりと光る政策をやっている。住む人の安全、安心を全力で進め、地域の文化も守る。

農業の町の基本対策の考えについて

諸橋 小規模農家の対応策と、古くに基盤整備を行った暗渠の劣化等町の対応を伺いたい。

町長 町の小規模農家は平均7反と面積が小さく兼業であり町の農業の

基盤をなしている。小規模でもコストを下げ旨い米を高く売る出雲崎米の売り込み中間地農業のあり方を考えていきたい。古い暗渠については、国・県の事業があり、町に地域で要望してほしい。

出雲崎町地域防災計画について

諸橋 水害で吉川、市野坪、田中二級河川改修が難しい水の出口を別に造れないか。また、柏崎刈羽原発再稼働について、新潟日報での柏崎市長について町長の考えを伺いたい。

町長 吉川地区は河川の基本的断面が取れるよう、田中に関しては、基盤整備の中で考えていきたい。原発は、安易に再稼働は容認できない。東日本大震災の検証、県・柏崎・刈羽をよく見ながら慎重に考えていく。

崎市長の発言に直接、関与はしない。

町の雇用・企業誘致について

諸橋 出雲崎町には雇用の場が少ない。町の企業誘致はどうか。また、長岡北インターが開通したが、考え方を伺いたい。

町長 企業誘致は現段階では、難しい。他地域と出雲崎の雇用条件に違いはない。ぜひこの町に

住んで、若い人たちから勤めていただくよう、努力はしていく。

町道拡幅・外灯設置・切土の木の排除について

諸橋 町道拡幅、外灯の整備、町道脇の木の排除について伺いたい。

町長 通学バスを優先に拡幅を行う。外灯については、通学路を基本とする。切土木の排除は、所有者が、緊急の場合、町が行う。



吉川砂防ダム

汐風米の現状と今後は



小黒 博泰 議員

町長 仕切り直しでやる

汐風米の現状について

小黒 昨年までは沢田で今年には神条で作付されている汐風米であるが、ホームページは「収穫された稲を日本海の潮風で乾燥させた、こだわりの特別栽培米」観光パンフは「日本海の潮風に昔ながらのはさ掛けでさらしたこだわりのお米」と表示しながらも潮風にはさらしていない、偽装米ではと意見をあるが、現状をどう考えるか伺う。

町長 過去にも質問を頂いて私なりに答弁させて頂いた。看板に偽りがあり、潮風はどうなのかと言う事だが、出雲崎は日本海に面して、吹き渡る風は必ず潮風を乗せながらどこにでも風は来ている。海の出雲崎で作った汐風米と言う事で理解頂きたい。

天日干しはしっかりと技術で行わないと食味が落ちるので、偽りだと言われても消費者に美味しい米を出す為に、しっかりと乾燥調整し今年も天日乾燥はしない考えだ。

汐風米のネームも、32年に商標登録期限が終わるので継承しないで商標登録はやめようと思う。どこにも負けない米作りに精神誠意対応したい。

汐風米のネームについて

小黒 美味しい米を作るのは当然。ブランド米を作って出雲崎をPRする事で、汐風米を始めたと思う。ネーミングを無くす答弁があったが、出雲崎まるごとオーナー募集の中でも汐風米についてはっきり表示しているのにおかしいのでは。

町長 商標登録ではそう言うことは全くうたっていないが、ホームページ、パンフ等にそう言う文書が載っているのは如何なものかと思う。指摘については、真摯に反省をし対応していきたいと思う。

販売価格について

小黒 天領の里で販売している価格で汐風米5kg 3,150円・合鴨米

5kg 3,380円・稲研米5kg 3,020円・出雲崎産コシヒカリ5kg 2,450円でかなりの価格差がある。はさ掛けも潮風にもあてない普通の乾燥調整した米を汐風米として販売するのか。

町長 今販売しているのは確実にはさ掛け米だが、60kg 3万6千円もする米は贈答用でなければ食べない。品質をたもつて美味しい米を安く販売する方向で進めるべきで、今後は価格の面も検討する。

委託契約について

小黒 今後、汐風米のはさ掛けはしないならば、委託契約をしないので一般の出雲崎産コシヒカリを買って汐風米として販売しても変わりはないのでは。

産業観光課長 町長の答弁の通り、はさ掛けをやめて精度の高いお米を作って頂く事で、今年度20億円50万で委託をお願いしている。

汐風米の今後は

小黒 答弁で町内どこでも潮風があたり、汐風米だと言う観念が理解できない。苦労して商標登録し始めた事業なので、海岸に圃場を移すなど考え、簡単にやめないで頂きたい。

町長 先走った発言をしたが、しっかりと栽培過程で美味しい米を売り込む事に、仕切り直してやりたい。産地指定をしてある程度大量に、安く美味しい出雲崎産コシヒカリのブランドを作りたい。汐風米のネームを残すのであれば、内容の文言、表現を変えて美味しい米の産地化にする為のスタートラインに立ちたい。仕切り直して、来年は少し感覚を変えて本場の出雲崎産コシヒカリを売り込む様に頑張っていく。

その他の質問

インバウンド観光による観光客誘致について

新議会に期待すること

遠藤 敬子さん(藤巻)

モニターとして、議会を傍聴する機会を頂き、勉強になりました。また、出雲崎のことをより多く知る事ができました。これからも住んでよかった、住み続けたいと思うような町づくり、そして町民一人ひとりの声を聞き、活気ある議会に期待します。



島明日香さん(稲荷町)

議会では、町長にどんな質問をぶつけないか、質疑を通して、その政策の完成度を確認することが大切だと思います。また、住民の思いを聞き、行政に反映させると同時に、「町全体」としての問題に向き合い、事実に基づいた検証ができるなど、決定に至るまでの過程を重視することで、議員の存在が明確になるのではないのでしょうか。



功績を称え表彰される



左より田中政孝氏、山崎信義氏

第47回出雲崎町ほう賞式において、

◎田中政孝氏(川西)

◎山崎信義氏(木折町)

のお二人が、町議会議員として、長年にわたり町行政の発展に寄与したとして、特別功労者表彰を授与されました。

また、町議会議員表彰を

◎中野勝正議員(大門)

◎故田中元氏(立石)

のお二人が授与されました。

表紙の小話



今年の文化芸術鑑賞会は、「らくごパラダイス」！失礼ながら最近、私はテレビで落語にチャネルを合わせることも少なくなっていました。

しかし、何とも強烈で、目からウロコの落語ネタ、たまたみ掛けるようなおもしろさに会場は爆笑の渦でした。初めて高座に上がった子どもたちは、桂扇生さんの手ほどきで、これまた感心するほど堂々とミニ落語を披露してくれました。

楽しむマナーも「そうだよね」。笑う門には福来たる「そうだよね」。新しい気付とともに心が洗われたように清々しい一日になりました。

(高桑佳子)

編集後記

任期満了に伴う、町議会議員一般選挙が、5月16日に告示され、10人の議員が決まりました。

5月21日、町中央公民館講堂において、選挙管理委員長より、当選証書を受け取りました。

議員全員が、町民の期待に、応えられるよう全力で、町発展のために取り組んでいきます。

6月8日臨時議会が開催され、議会人事が決まり、議会報特別委員会に、新人議員2名が入りました。

いずもごき議会だよりを、町民の皆さまに、さらに読んでいただけるように、新メンバー全員で取り組んでいきますので、活発なご意見、ご要望をいただきたいと思っております。ご指導、ご協力をお願いいたします。

(中野勝正)

議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 小黒博泰
委員 安達一雄
委員 中野勝正